



発行：一般社団法人 日本ホメオパシー協会 / Japan Society of Homeopaths  
■本部：栃木県那須郡那須町高久丙 407 番地 426 ■東京事務所：東京都港区三田 2-2-15#301  
Tel.03-5419-3962 Fax.03-5419-3963 info@homeopathy-jsoh.org

皆様、こんにちは！

お元気で日々、頑張っておられることと思います。皆様の協会へのご参加と大きな意思に力強く支えられ、おかげさまで当協会も設立4年度を迎えています！

これまでの皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

本当に遅ればせながら！ですが、当協会もようやくこのようなニュースレターを皆さまにお届けできるよう状況になりました。本当はもっと早くから、このような形での情報発信ができれば良かったのですが、私の力不足で大幅に遅れてしまいましたことをお詫び申し上げます。熱意溢れる仲間のサポートによって実現しましたことに、心より感謝いたします！



今まで3年間の協会の活動を振り返りますと、主な活動としては、海外の素晴らしい先生方をお招きし、特別セミナーや国際セミナーを定期的に開催してまいりました。ミッシェル・ノーランド先生、ジェフ・ジョンソン先生、デイビッド・マンディ先生、ジェレミー・シェア先生、ブライアン・カプラン先生・・・それぞれが本当に素晴らしいセミナーをして下さり、私たちのホメオパシーの学びと実践に大きな勇気と刺激を与えて下さいました。

このようなセミナーが実現したのは、永松先生ご夫妻の多大なるご尽力の賜物です。この場を借りて、深く御礼申し上げます。

協会では、引き続きこのような形でのセミナーを続けていく予定です。まだ出会ったことのない先生も含め、その時に本当に相応しい方をお招きして教を請うことができれば、とても嬉しいことだと思っています。ぜひ1人でも多くの方々にご参加いただき、それぞれの学びを深められると同時に、日本のホメオパシーの真の活性化に向かって、思いや歩みを共有できる基盤にしていければと思っています。

それと全く同じ意味で、協会として、これから新たに何を皆さまに提供していくのか、どのようにそれを行っていくのか、ということ・・・いや、もっと正確に言えば、皆さまと共に何が出来るのか！どのようにそれを行っていくのか！ということを実際に考える時期がやってきたと考えています。

今年の国際セミナーでブライアン先生から問題提起していただいた、社会の中でのホメオパシーの立ち方とその伝え方。そして、その社会を相手に、本当に大きな成果を上げているジェレミー先生のアフリカでの活動。そこから私たちが真剣に学び、実際に活動していかなければなりません。

そのためには、現実の社会の中にちゃんと食い込み、そこでできることをきっちり行っていく必要があります。そのとっかかりとして、

ホメオパシーの方から積極的に社会と接点を持つていくことが、非常に大切だと思います。それは要するに、自分が少しでも影響を与えることのできる人脈をもっと大きく作っていく必要があるということです。少なくともその意識を強く持つことが、私たちの活動の大前提であると考えています。

自分の今までの人生を振り返った時、私には、この人脈というものを積極的に作り、拡大していくための努力を非常に怠っていたという反省があります。ゆえに今後は、そのための努力をできる限り行っていきたいと考えています。それは自分自身のことだけではなく、ホメオパシーに関わる者としても非常に重要なことであると実感しています。

人が互いにつながり、共に何かをなそうとする時、必ず必要なものがあります。それは夢や目標、あるいはビジョンと言ってもいいでしょう。そして、そのビジョンを共有し、それを成し遂げようとする情熱に溢れた豊かな人脈がどうしても必要です！それが社会活動の一番大事な基盤だと思います。

当協会の目標は、人々の真の健康と幸せです。そして、それにきちんと貢献できるように、本来のホメオパシーを健全に発展・普及させるということです。人々の健康と幸せを目標にするのなら、本来的にはとても多くの方々を共にできるはず！そこにはホメオパシーも何も関係ありません。その思いを共有して行動を共にするためには、1人の人としての信用をもとにした人間同士のつながりがとても大事になることでしょう。

私は、これからはそこを第一にしないといけなと思っています。その上でももちろん、ちゃんとそれぞれがホメオパシーの実力をつけ、結果を出し、その信用をさらに確かなものにしていくことが必要になるでしょう。決して驕らず、色んな方、色んな活動と1人の人として繋がりが合いながら、そして人としての信用を勝ち得ながら、その中でホメオパシーを存分に生かしていくことができれば、どんなに素晴らしいことかと思っています！それはもちろん、個としての人間だけでなく、協会全体としてみた場合も同じことかと思っています。

皆で目指せる大きなビジョン！それを共有できる人脈を作り、共にそのビジョンのために何かをなしていく。その中で、ホメオパシーも大いに生かす！その着眼点から、今、皆さまと共に何が出来るのか！どのようにそれを行っていくのか！ということ色々考え、実践していきたいと思っている今日この頃です。

引き続き、どうぞよろしく願いいたします！

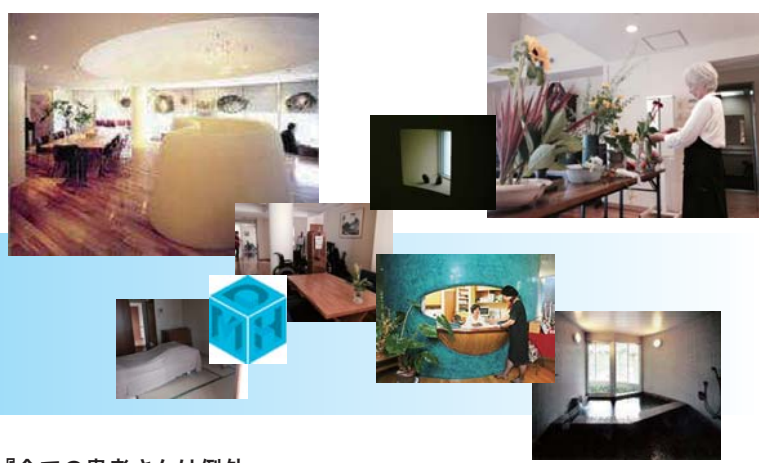
日本ホメオパシー協会 会長 久 伸輔

鹿児島市上園町

『病院らしくない病院』～寄り添う医療を求めて～

# 堂園メディカルハウス

日本ホメオパシー協会 副会長 堂園文子



堂園メディカルハウスは、鹿児島中央駅を背にして桜島方向に五分ほど歩いた所に有る有床診療所です。鹿児島市の姉妹都市の名をとったナポリ通りに面しています。戦後ここで両親が堂園産婦人科を開業していました。

私の夫(堂園晴彦)は昭和53年に慈恵医大産婦人科に入局しお産を広尾日赤病院で雨森先生にご指導いただいたりしていましたが、次第に腫瘍での研究に惹かれ、国立がんセンターレジデントとして、各臓器の3大治療を学んだあとしばらくして鹿児島大学に行きました。それに伴い四人の娘を連れて私も横浜から移住しました。

そういえば、がんセンターで必死に治療をしても再発したり亡くなる患者さんに対して何ができるのかを悩み、ライナス・ポーリングのビタミンCの理論や代替療法、民間療法と呼ばれるものも勉強していました。父と似て「患者さんがよくなる為には何だって有り」というスタンスです。父が心筋梗塞で倒れたのを機に、父の跡を継ぎました、といっても小さな小さなクリニックでした。

さて開業してみると業者さんへの支払い、給与計算、レセプト請求などの様々な事が必要になって来るわけで、私は必要に迫られて簿記や社会保険関係の勉強をして手探りの開業がはじまります。最初は一日五人の患者さんで暇でしたがだんだん小さい待合室から患者さんがあふれるようになってしまいました。

少しずつ癌の患者さんを診るようになっていましたが、入院施設もなく、介護保険も無い時代でしたから、大変なことがたくさんありました。

婦人科系の病気の方が自宅で終末期を過ごす場合、しかも息子さんと夫が看病するとなると患者さんは落ち着きません。そんな方々をみたり乳がんの患部の処置の問題などを経験するうちに、だんだん「理想の医療、理想の病院」に向けての病棟構想が膨らみました。



その様な経緯で堂園メディカルハウスを1996年に設立しました。幾つかのキャッチフレーズを紹介しましょう。

## 『病院に自宅の一室を持ち込もう』

病室には口ウソクの火、部屋の外に漏れるような匂いの物以外は何を持ち込んでいただいても良く、ペットもOK。入口で靴を脱いで入ります。

## 『病院らしくない病院、もう一度行きたくなる病院』

もしも自分が入院したら、を出発点に設備、備品、などを工夫して入院患者さんの衣食住が快適になる様にしました。

## 『手の温もりとおもてなしのシャワー』

ケア理念です。患者さんに手で触れよう、小さな気配りを大事にしよう、視線を同じ高さにして話そう。東京オリンピック誘致で有名になってしまった「オモテナシ」をシャワーの様に。

## 『全ての患者さんは例外』

マニュアルは極力排除して、個別対応を心がけています。

## 『いのちのバトンタッチ』

大切な人を見送る事で人は多くを学びます。いのちの往還を子供が感じ取れる様に子供たちへのケアをします

## 『どこでもケア』

通院、入院、在宅、患者さんがどこにいらしても同じ医師、同じ看護チームがみていきます。

## 『なんでもケア』

あの手この手。とても言いましょうか。風邪の患者さんもみますし、アトピー性皮膚炎、更年期障害、抑うつ、慢性疲労症候群、心身症、癌(全ての癌)の患者さんが多くですね。保険医療機関ですので一般の薬も出しますが、抑圧的な処方では避け、心身のバランスを整える様な処方と、食事指導、生活指導がセットになっています。癌の患者さんに対してはベストサポータティブケア、いわゆる緩和ケアになるでしょうが、単に緩和だけでなく、進行速度を遅らせる様な治療も取り入れています。病棟の一室をアロマテラピールームにして、専門看護師が対応しています。リンパドレナージュも対応可能です。

精神科の薬を使う場合は神田橋條治先生と共同で過剰投与にならない様に心がけています。

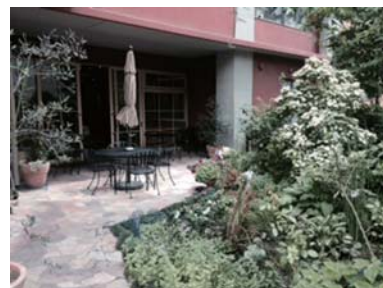
ホメオパシーは、私がハーネマンアカデミー在学中から、まずはスタッフに勤めてきました、褥瘡の患者さんや骨折の患者さんへの処方もしてきました。産科では妊婦管理のみでお産は他院にお願いしています。(数は少ないですが)

ほとんどのお産の方にレメディーを差し上げました。今、私は夫が理事長である保育園の園長を兼務している為に、なかなか院内に腰を据える余裕がないのですが、ホメオパシーは他の治療と共に病院の中に違和感無く存在していると言えると思います。

あっという間に20年が過ぎました。延べ1700名の患者さんを看取ってきました。望まない妊娠で困った女性の赤ちゃんの特別養子縁組のお手伝いが30件はありましたでしょうか。いろんな患者さん、それぞれの家族、生き方が有りました。産婦人科と終末期に関わる日々は人生勉強の連続です。

自らが還暦を迎えた今、患者さんから学び、「いつ死んでも納得できるような1日1日を過ごしたいものだ」と想う、このごろです。

堂園メディカルハウス HP  
<http://www.dozono.co.jp>



# 京都 David Mundy 先生 3月セミナーレポート



3月下旬、春の京都に David Mundy 先生をお招きして3日間のセミナーが開催されました。

今回は協会主催セミナーとしては初の関西開催であると同時に、初の合宿形式でもあり、David 先生はじめ参加者が寝食を共にして交流することができました。

会場は、修学院離宮に近く、竹林に囲まれ鳥の鳴き声が良く聞こえる閑静な環境に建つ関西セミナーハウスの、その中でも奥まった場所にある能舞台 (!) でした。

初日は、良く晴れていると思っていたら俄かに暗くなり激しくみぞれが降ったり雷鳴がとどろいたり、また明るい陽射しが照り付ける…という不思議な天候の中、「存在」というテーマを持つ水素とヘリウムについての David 先生の講義が始まりました。

David 先生の講義で私が大好きなところの一つは、ユーモアを交えつつ、音楽や映画、童話や神話等、あらゆる世界の扉を開き、感覚としても伝えてくださることです。今回もたくさんの映画や音楽が登場しましたが、その一つ「ゼロ・グラビティ」を最近観る機会があり、周期律表/第一シリーズのテーマについて、改めて感じ入ることができたと思います。



ケーステイキングについて、「古典的な本は基礎となるものですが、古典的な本だけを見るのではなく、またテーマだけ見れば良いわけでもなく、総合的にみていくものです。ケースの全体像をとらえてから、部分をつなげて考えていくこと。広い視点で考え、まずはケースのアンカー（入口）を見つけること。ケース分析プロセスがとても明瞭であれば、レメディが膝の上に降りてくることがあります」と仰っていた David 先生のケーステイキングは、ケースに合わせて様々なメソッドを自在に使い、ケースのセンターにスッと迫ります。

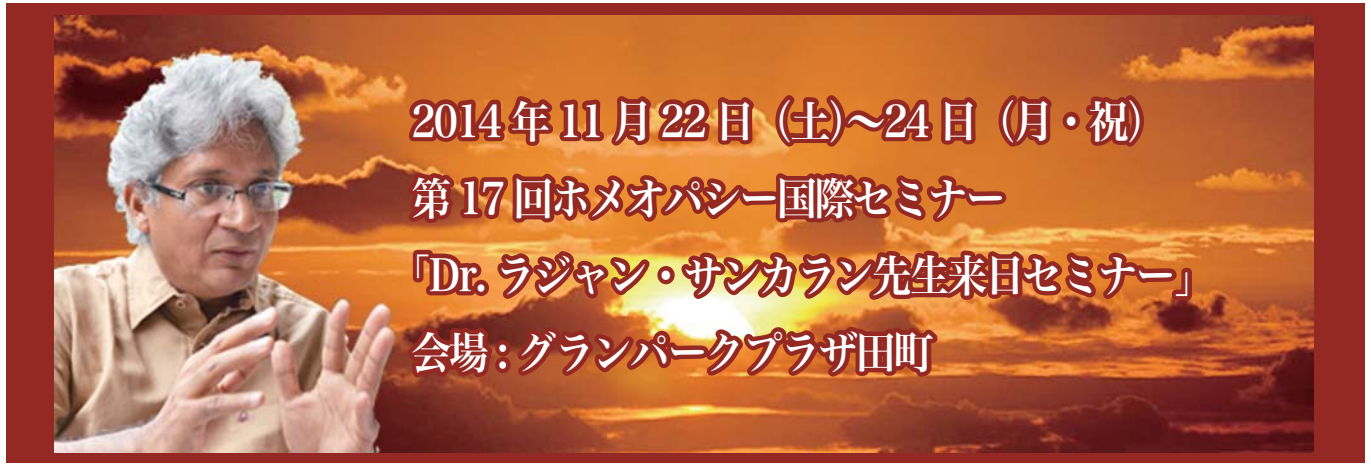
次回のセミナーではどんな世界の扉が開かれるのか、どんな素晴らしいケーステイキングを見せていただけるのか、本当に楽しみです！

成松 加央合



日本ホメオパシー協会特別セミナー  
「デイビッド・マンディ先生  
来日セミナー」  
次回 2015 年春・関西会場にて  
開催を予定しています。

詳細決まり次第、協会 HP にてお知らせします。



第17回ホメオパシー国際セミナーの講師は、インドのラジャン・サンカラン先生をお迎えすることとなりました！ラジャン・サンカラン先生は、あらためてご紹介するまでもなく、現代における世界的最高峰のホメオパスのおひとりです。常にホメオパシーの真実と成果を追求し、先進的かつ本質的なレベルにおけるホメオパシーの刷新と啓蒙によって、世界中のホメオパスに多大な影響を与えてきました。もちろんホメオパシーの教師としても卓越した存在であり、私たちのホメオパシーの理解の拡大と深化に大きな貢献を果たしています。

今年の国際セミナーは、ラジャン・サンカラン先生をお迎えいたします！  
皆さま、どうぞ今からお時間をご調節いただき、この大きな学びの機会を逃さぬようご準備下さい！

■参加費

1日につき：30,000円（税込）

3日間通し：80,000円（税込）

※日本ホメオパシー協会会員は、会員種別にかかわらず全て2割引といたします。

お申込はお早めに！お得なアーリーバード特典が適用されます！

**Early Bird** (早期申込割引)

【アーリーバード特典】

□対象者 8月29日（金）までにお申込いただき、  
9月5日（金）までにお振込いただいた方

□特典料金

<1日につき>

- ・会員（会員種別不問）：3割引（21,000円 / 税込）
- ・非会員：2割引（24,000円 / 税込）

<3日間通し>

- ・会員（会員種別不問）：3割引（56,000円 / 税込）
- ・非会員：2割引（64,000円 / 税込）

どうぞ特典期間中にお申込下さい！

セミナーの詳細・内容につきましては、追って日本ホメオパシー協会のHPにてお知らせいたします。楽しみにお待ちください。



当協会海外顧問  
ミッシャ・ノーランド先生の推薦文

30年以上もの長きにわたり、絶えず私に感動を与え、鼓舞し続けてくれたホメオパス、それがラジャン・サンカランです。ホメオパシーにおける革新者であり偉大な教師である彼の素晴らしい、明晰な洞察力、貫徹した真実の探求、そして臨床的知識によるものです。ラジャンが教える全ては、患者の健康や幸福に寄り、臨床の場で裏付けられます。彼は必ずやあなたの求めに応え、決して期待を裏切ることはないでしょう。

Dr. ラジャン・サンカラン先生  
プロフィール



Rajan Sankaran

世界的に有名な思想家、教師であり、ホメオパシーについて多数の著作がある。明快かつ独創的な思想家として名高く、ホメオパシーにおける革新的な概念を打ち立てたことで世界で最も著名なホメオパス。「病とは誤った現実の認識（デリュージョン）から生じる」という考えが、著書「The Spirit of Homeopathy（邦題：ホメオパシーの神髄）」のテーマであり、この本は15カ国語に翻訳されている。最新の著書「The Other Song - Discovering Your Parallel Self（邦題：もうひとつの歌 - 同時進行する、もうひとつの自己を発見する）」では、ホメオパシー以外の分野における発見を紹介している。インドのムンバイ市ジュフ地区に居を構えて臨床を行うかわら、世界各地でホメオパシーを教えている。

その明快で簡潔な教え方から、世界中のホメオパスに非常に人気の高い教師である。彼のセミナー、ワークショップ、講座は、インドやその他の国々で広く受講されている。多様なコースを展開するHomeopathic Research and Charitiesを同僚と共に設立。英国ホメオパシー協会（The Society of Homeopaths）から特別会員の名誉（FSHom）を与えられている。

■お申込・お問合せ

お申込は、協会HPのお申込専用フォームに入力いただくか、または、協会HPからダウンロードした申込用紙に必要な事項を明記の上、東京事務所にFaxください。  
お問合せは、東京事務所までお電話またはメールにご連絡ください。

こちらのコーナーでは、活躍している会員の皆さんをご紹介します。

## 日本ホメオパシー協会 正会員ホメオパス紹介



56歳とは思えないほどの若々しい亀井さん

鎌倉クラシカルホメオパシー 代表  
アクア・ゼスト株式会社 代表取締役

### 亀井 一郎さん

#### ーホメオパシーとの出会いー

亀井さん「もともと広告等のカメラマンをしていた時に、激務もあって、黄斑変形症で左眼を失明という危機に陥ったのです。近代医学では「不治」と判断され、絶望のどん底に。その時に出会ったのが、ドイツ人ホメオパス。すぐにセッションを受け、治癒した経験からホメオパシーの研究に没頭し、その後 International Academy of Classical Homeopathy (GREECE) にて勉強。Prof. George Vithoulka より Diploma を取得し、鎌倉にて「鎌倉クラシカルホメオパシー」を開業しました。」

2012年にアクア・ゼスト株式会社設立。JFE・THINK 研究C棟に研究施設に細胞培養促進水の研究開発開始。自己組織誘導型再生医療の歯と骨の石灰化に関与する生理活性物質の研究開始。2014年ヒト飲用に調整した機能水商品化(ミトコンドリアパワー)ミトコンドリアパワーの微細血管の拡張機能、高血圧心不全への有効性確認臨床実験開始。今、注目の機能水となっているそうです。

#### ー亀井さんのこれからの夢はー

「グラスゴーに在るような、ホメオパシークリニックを作りたいです。日本におけるホメオパシーの垣根をなくし、たくさんの人に奇跡を感じてもらいたい。」

今後の活動も楽しみです。お忙しい中、取材をありがとうございました。

インタビュー：MO.

#### ーホメオパスとしての活動ー

「開業してから11年ほど活動し、最近は自閉症・アスペルガー症候群など精神的疾患のクライアントさんを診てきています。現在の日本で生きにくさを感じている人達が、いかに多くいるのかを痛感し、日々研究を重ねています。」また、フッ素のレメディーの症例も多くお持ちで、このテーマで、多くのホメオパスの為にケースのシェアをしていけたらとおっしゃっていました。

#### ー亀井さんの会社

『アクア・ゼスト(株)』について「ミトコンドリア(体内の細胞中に存在する小器官)を活性させる物質の研究開発が企業ドメインのライフサイエンスの会社です。

レメディー製造工程のサーカッション(振盪)にヒントを得た、ミトコンドリア活性組成物を含む、機能水(Code Name- APAS)を開発し、鶴見大学歯学部口腔病理学講座を皮切りに、多数の大学との共同研究を経て、iPS細胞、ES細胞等の培養促進、体内の微細血管の拡張、免疫細胞の増殖と活性の向上抗加齢効果などに多くの研究成果があります。

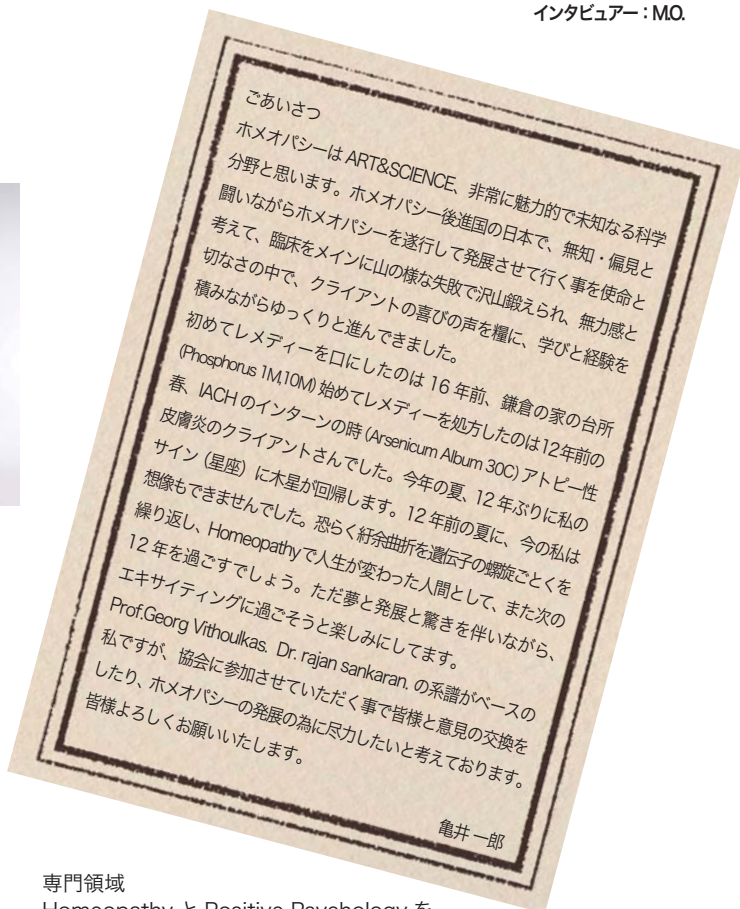


2014年に、この機能水をヒト飲用に調整し商品化したものが「ミトコンドリアパワー」で、現在ゴールドジム(世界最大級のフィットネスクラブ)に採用され、アスリートの方々から高い評価を得ているそうです。」



クリーンルームにてー亀井さんの会社

鎌倉クラシカルホメオパシー <http://www.khomeopathy.com/>  
アクアゼスト株式会社 <http://www.aquazest.info/>



#### 専門領域

Homeopathy と Positive Psychology を併用し、主に精神疾患に実績。鬱病、双極性障害、境界性人格障害、過眠症、記憶喪失、アスペルガー症候群、強迫神経症、不安神経症、受験期の子供の心身の安定、学習効率のアクセラレーション。

# Homeopathy life 旅行に役立つ AAA レメディー

Kumiko Ako



夏のお出かけシーズンが近づいてきました。夏のご旅行の計画はお済みでしょうか？

海や山、また海外に行かれる方も多いかもしれません。近年自然な療法で対処したいと思われる方が多くなりました。特に小さなお子さんをお持ちのお母さんではできるだけお薬を飲ませたくないと思っていってしまうことでしょう。旅行にも常備薬としてホメオパシーのレメディーは大変役にたちます。いろいろな場面で助けてくれます。今回は特におすすめの AAA レメディーをご紹介します。

まずは Aconitum (アコナイト) これはトリカブトから作られるレメディーですが、とにかく何か突発的なこと、メンタルでも身体でもショックなことがあったらまず Acon. です。そして、あれ？ちょっと変かも、喉がおかしい、と思ったときも Acon. を飲んでみてください。風邪の発症をおさえることができます。またリパークルーズなどに行かれる方も多いと思いますが、首筋を冷やしてあれ？変かな？ちょっと寒い、なんて思ったときには本当に効いてくれます。次の A レメディーは Arnica (アルニカ) です。怪我には Arnica と呼ばれているぐらい有名ですね。ウサギ菊という植物から作られるレメディーですが、旅行などではとても重宝するレメディーです。一般的な擦り傷、出血などの他、打撲、捻挫、鼻血、乗り物酔い、ジェットラグ、眠れない、エコノミー症候群などさまざまな旅行時のトラブルに使えるレメディーです。そして最後の A レメディーは Arsenicum Album (アルセニカム・アルブム) ヒ素から作られるレメディーです。夏は冷たい果物がおいしいので、旅先でもつつい食べ過ぎてしまったりしがちです。そういったときの下痢や食中毒によく効くレメディーです。またフライト恐怖症や、蕁麻疹などにも使えます。普段はあまり出ないのに、旅先で疲れがたまったりして蕁麻疹がでることもありますね。私がアメリカにいた時、まだカーナビなどもなかった時代、AAA というアメリカ自動車協会というところがあり、旅行に行く前は必ず寄ったものです。そこに行くと、目的地までの詳しい行き方を地図に示して縦型のファイルにしてみました。旅の必需品で大変に助かった思い出がありますが、是非みなさんもお供に AAA レメディーを役立ててくださいね。

参照：「Ainsworths 42 Essential Remedies 和訳小冊子」発行：日本ホメオパシー振興会

## News



**正会員のホリスティック歯科医の  
小泉先生が本を  
出版されました。**



「こんにちは、ヨコハマヒーリングデンタル院長の小泉です。この度、念願の本を出版することができました。タイトルは「これが最先端～非科学的歯科治療のススメ」です。現在の歯科治療の根本的な問題とそれにどう対処すべきか。さらにクリニックで用いている代替医療（相補補完医療）をどう応用しているかをできるだけわかりやすく書き下ろしたつもりです。歯で困っている方もそうでない方もたくさんの方に読んでいただければ幸いです。」

「これが最先端 非科学的歯科治療のススメ」 著者 小泉嘉津海  
出版社 YHD パブリッシュ 発行日平成 26 年 7 月 22 日 価格 1200 円 (税別)  
内容 全身を診る歯科医だから書ける歯とカラダの本当のはなし。現在の歯科治療の問題点を鋭くえぐり、本来の歯科治療の在り方を提言する筆者のクリニックで行われている多くの代替医療の説明と歯科治療のコラボレーションについてもしっかり解説しています

小泉さんのクリニックの HP <http://www.yokohamahealing.com/>

## The American Homeopath Vol19. 2013 に 久会長の記事が掲載されました！



The American Homeopath Vol19. 2013 に久会長の記事が掲載されました！

**タイトル『Homeopathy in Japan — Past and Present』**

(和訳タイトル「日本の中のホメオパシー：その歩みと今」)



協会にもまだジャーナルが届いていないのですが(もちろん久会長も手にできていません)この記事が掲載された直後に NY で活躍されているアメリカ人ホメオパスから事務局にメッセージが届きました！

いったいどんな内容なのでしょう？次回の会報で内容をお知らせしたいと思います！お楽しみに♪

## Dr. ブライアン・カプラン先生来日セミナー DVD が出来ました！ (第 16 回ホメオパシー国際セミナー)



英国の医療従事者からなるファカルティ・オブ・ホメオパシーの名誉特別会員であるブライアン・カプラン先生の来日セミナー。「The future of Japan」：医療全体の中で、ホメオパシーがどのような位置づけにあり、どのような役割を担っていくのかなど、これからの日本の医療全体を見据えたテーマと「Taking the case」：ケースを取るに当たって本当に大事なことは何か、自分自身のやり方をどのように見つけ発展させていくのかなど、ホメオパシーの力量を磨いていくための実践的なテーマ。この 2 つを中心に、今、必見の内容が盛りだくさんの DVD です。

ご購入は日本ホメオパシー協会ホームページからどうぞ！！ [http://www.homeopathy-jsoh.org/shop/DVD\\_bryancaplan\\_2014.html](http://www.homeopathy-jsoh.org/shop/DVD_bryancaplan_2014.html)



会報編集：日本ホメオパシー協会 / Japan Society of Homeopaths

■本部：栃木県那須郡那須町高久丙 407 番地 426 ■東京事務所：東京都港区三田二丁目 2-15#301 Tel.03-5419-3962 Fax.03-5419-3963

編集後記：初めての会報発行にあたり、私たちスタッフもどんな記事作りをしたら良いのか手探り状態からはじめていきました。初回は協会理事の方に沢山のご支援をいただいたりしながら、お陰さまで形にすることが出来ました。ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました！次号はもっと会員の皆さまのお役に立てそうな内容を取材して、内容の充実に務めてまいります。会員の皆さまからの投稿やリクエスト・アドバイスを大募集中ですので、お気軽に協会の会報編集スタッフ(協会メールアドレス：info@homeopathy-jsoh.org)まで、よろしくおねがいします。